回復期リハビリテーション病棟に係る掲示事項
（令和　8年　8月～令和　8年　10月）

回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数	58人
回復期リハビリテーション病棟を要する状態の区分別内訳	
1　脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	20人
2　大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	16人
3　外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	16人
4　大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0人
5　股関節又は膝関節の置換術後の状態	6人

退院患者様のリハビリテーション実績指数 （令和8年4月1日から令和8年9月30日までの6ヶ月間） （厚生労働省による基準値　42点以上）	53.69点